

令和5年度 調布市立滝坂小学校 学校経営方針

「笑顔があふれ 夢を育む 滝坂小学校」を目指して

1 本校の教育目標

- ◎ よく考え すすんで学習
(すすんで学習し、自分を見つめ考えながら課題に取り組む子供「問題解決力」)
- 強いからだ やりぬく心
(健康な体をつくり、粘り強い心をもって行動する子供「実践力」)
- 人に親切 仲良く協力
(優しい心をもち、仲間と協力できる子供「人間関係形成力」)

2 目指す学校像【「つくる」「つながる」「つたえる」学校】

- ◇ 「つくる」…子供たちが変化する社会を主体的に生きるために必要な資質・能力を育成する教育活動を創造する。
- ◇ 「つながる」…子供の学びと成長のために、教職員、子供、保護者、地域がつながる。
- ◇ 「つたえる」…透明性の高い学校を目指し、教育活動の取組を積極的に保護者、地域に発信する。

3 学校の教育目標を達成するための基本方針

- (1) 「よく考え すすんで学習」する児童を育成するために
 - ・各教科における「書く」ことの充実(校内研究)
 - ・他者と協働して「習得」「探求」「活用」する過程における問題解決学習の推進
 - ・モバイル端末の効果的な活用による情報活用能力の育成
- (2) 「強いからだ やりぬく心」をもつ児童を育成するために
 - ・基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上
 - ・健やかな体の育成、継続する力、諦めずに取り組む力の醸成
- (3) 「人に親切 仲良く協力」する児童を育成するために
 - ・人権教育を基盤とした全教育活動の推進
 - ・道徳教育の推進による豊かな心の育成
- (4) 教育目標達成に向けたその他の事項
 - ・児童一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
 - ・社会に開かれた教育課程を実現するために、地域文化や人材を活用した学習の実施

4 指導の重点

学習指導

- ・校内研究（国語科・書くこと）を中心に、授業改善に取り組む。
- ・算数科では、「数学的な見方・考え方」を明確にさせ、授業改善に取り組む。
- ・社会科では、国語科等他教科と関連させることで、多角的に考える力を育成する。
- ・オリンピック・パラリンピック教育に関連付けて、スポーツ志向の児童を育成する。
- ・「体力アップマラソン」や「大なわ大会」の取組を工夫し、体力の向上を図る。
- ・モバイル端末や ICT 機器の計画的な活用により、情報を活用・表現する力を育む。
- ・外国語では、言語活動を ALT や視聴覚機器の活用で楽しく学び、対話項目の定着を図る。

特別活動

- ・学級活動、児童会活動、学校行事での体験的な活動を重視する。
- ・学級会における話し合い活動を充実させる。
- ・委員会、クラブ活動、キャリア教育の充実等、よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度の育成を重視する。

特色ある教育活動

- ・総合的な学習の時間に、体験的な環境教育の学習を行う。
- ・地域学校協働本部や PTA 活動、地域団体等と連携して日常的・継続的に運動に親しむ機会を設ける。
- ・開校 150 周年を踏まえ、各教科、特別活動、行事等を通して学校の歴史に関心を持ち、学校を愛する心を育む。

特別支援教育

- ・特別支援教育への理解を深め、授業の UD 化を推進する。
- ・特別支援コーディネーターを中心に全教職員で、支援の必要な児童に組織的に対応する。
- ・わかき学級と通常級との交流や副籍交流を計画的に行う。

生活指導

- ・いじめ防止委員会を中心に組織的対応を行い、「いじめ認知、解消 100%」を目指す。
- ・「は・あ・と」（話を聞く・挨拶をする・友達と仲良くする）を合言葉に教職員の共通理解のもと、継続した指導を行う。
- ・不登校、集団不適応、問題行動については、組織的な取組みにより迅速的確に対応する。
- ・食物アレルギー対応マニュアルに基づき、緊急時に適切な対応ができるように研修する。

進路指導

- ・自己肯定感を高め、個性や能力を生かして自己実現を目指す児童を育成する。
- ・キャリアパスポートを作成することで、児童が自分の未来に対して希望を抱けるようにする。